



一般社団法人 美馬青年会議所

設立40周年記念誌



入会認承証

第六九二号

美馬青年会議所



日本青年会議所正会員
として貴青年会議所の
入会を認承します

一九八一年十二月五日

社団法人日本青年会議所

会頭 森

輝彦



創立宣言文

剣山と吉野川の間に広がる美しい
美馬今ここに我等若人が相集い英知
と勇氣と情熱をもって明日の豊かな
郷土を築くための友情と奉仕の精神を
基本に若者の鏡となることを誓い
ここに美馬青年会議所の創立を宣言する

一九八一年九月六日

美馬青年会議所

理事長

山内昭典

JCの三信条

1. 個人の修練 Training
2. 社会への奉仕 Service
3. 世界との友情 Friendship

JC宣言

日本の青年会議所は希望をもたらす変革の起点として輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで持続可能な地域を創ることを誓う
2020年11月

綱領

われわれJAYCEEは社会的・国家的・国際的な責任を自覚し 志を同じうする者 相集い 力を合わせ
青年としての英知と勇氣と情熱をもって明るい豊かな社会を築き上げよう

JCI Mission

To provide development opportunities that empower young people to create positive change.
青年が、積極的な変革を創造し開拓するために能動的な活動ができる機会を創造する。

JCI Vision

To be the leading global network of young active citizens.
青年の行動的の市民活動を支援する国際的なネットワークをもつ先導的の機関となる。

The Creed of Junior Chamber International

JCI綱領

We Believe:

- That faith in God gives meaning and purpose to human life;
- That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
- That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
- That government should be of laws rather than of men;
- That earth's great treasure lies in human personality; and
- That service to humanity is the best work of life.

我々はかく信じる

信仰は人生に意義と目的を与え人類の同胞愛は国家の主権を超越し
正しい経済の発展は自由経済社会を通じて最もよく達成され
政治は人によって左右されず法によって運用されるべきものであり
人間の個性はこの世の至宝であり人類への奉仕が人生最善の仕事である

Contents

目次

	創立宣言文・入会認承証
01	JCの三信条・JC宣言・綱領・JCIミッション・JCIビジョン・JCI綱領
02	目次
03	40周年記念式典
	【理事長挨拶】
09	一般社団法人美馬青年会議所 第40代理事長 遠藤 圭介
	【来賓祝辞】
10	徳島県知事 飯泉 嘉門
	美馬市長 藤田 元治
11	つるぎ町長 兼西 茂
	公益社団法人日本青年会議所 会頭 野並 晃
12	公益社団法人日本青年会議所四国地区協議会 会長 丹生 兼嗣
	公益社団法人日本青年会議所四国地区徳島ブロック協議会 会長 廣浦 雅俊
	(敬称略)
13	歴代理事長紹介・代表挨拶 一般社団法人美馬青年会議所歴代理事長 代表 逢坂 伸司
14	スポンサー JC記念品贈呈・スポンサー JC挨拶・閉式宣言
15	各団体祝辞
15	脇町ロータリークラブ 会長 北川 一郎
	美馬ロータリークラブ 会長 廣澤 誠治
16	脇ライオンズクラブ 会長 都築 啓子
	脇町法人会 会長 根本 長茂
17	美馬市商工会 会長 蔭山 泰章
	つるぎ町商工会 会長 阿佐 哲也
18	公益社団法人阿波池田青年会議所 理事長 真鍋 和也
	(敬称略)
19	40年のあゆみ
21	1981年～2021年までの歩み
39	会員名簿
41	シニアクラブメンバー表
43	中長期計画
45	おわりに

一般社団法人 美馬青年会議所 40周年記念式典



理事長所信

一般社団法人 美馬青年会議所 第40代理事長 遠藤 圭介

美馬青年会議所は、1981年に設立して以来、私たちの住み暮らすまちに対して貢献するために、一步一步歴史を刻み続けた結果として、創立40周年という節目を迎えることができました。40周年は、1つの区切りであるとともに、組織として次の10年に向けてのスタートだと考えています。今まで諸先輩方が創ってきた組織の色を受け継ぎつつ、日々変わりゆく時代の中、明確な強い意志を持って、新しい色を現役メンバーで作っていかうと考えています。

私は、美馬青年会議所は、自らを高め、地域社会と共に成長する志を持った青年の集まりであり、自発的に運動を行う組織であるべきだと考えています。組織に所属しているだけで、ただ日々を過ごしては、何も得ることなく卒業を迎えることになります。メンバー一人ひとりが組織の運動を理解し、組織における自らの立場を全うすることにより、美馬の地を愛し、まちに対して責任を背負える人財が育つと信じています。そうした人財を輩出し続けることにより、私たちの住み暮らすまちに対して、責任を背負えるリーダーを継続的に生み出すことが、美馬青年会議所としての組織のあるべき姿だと考えています。

また、メンバーが自分たちの運動内容を、自信を持って語れるようになることで、一人ひとりの自信に繋がり、そしてそれは組織全体の自信と評価に繋がっていきます。共に切磋琢磨し、目的達成のための課題を解決していく中で生まれてくる仲間意識は、青年会議所運動を自発的に行っていくことによりできるものだと考えています。美馬青年会議所に所属していることに価値を見出してもらい、メンバー自身がすでに持っている様々な価値を膨らませ、成長することのできる場所だと感じてもらいたいと考えています。そして、自分自身が成長し、自己肯定感を高め、自分の価値を見出すことによって、組織さらには自分たちの住み暮らすまちの中で価値あるリーダーになれると信じています。

そして、その組織を維持するためには、会員拡大をメンバー全員で行うことが必要不可欠です。しかし、近年問題視されている生産年齢人口の減少により、私たちの地域でも会員拡大が難しいものになっているのが現状です。ただ、会員拡大を組織を維持するための活動として行うのではなく、私たちの地域を愛し、地域に対して責任を背負える人財を継続的に生み出すための運動として行うことが大切です。そのことを、メンバーが理解し自分たちの運動に対して自信を持って語れるようになることで、メンバー一人ひとりが価値ある人財になり、この地域の同世代の青年から見て魅力ある組織になると信じています。

私は、青年会議所の一番の目的は、メンバーの「考え方」を育てることだと考えています。私たちが、自分の豊かさや、幸せだけでなく、まわりの豊かさや幸せを考えることによって自分の心が広がり、そして自分の心を豊かにすることによって、明るい豊かな社会を築くことに貢献できると信じています。運動を行っていく中で、忙しい時、苦しい時、価値を見出せない時もあると思います。しかし、このまちの責任世代という自覚を持って課題に対して共に悩み、運動を起こし、自発的に行動することにより共に成長していきましょう。

基本理念

共生

～より良い未来へ、ともに進もう～

基本方針

地域社会に必要とされる組織への推進
会員にとって価値のある組織への推進
未来に繋ぎ成長し続ける組織への推進

40周年記念式典プログラム

オープニングアクト 協町高校吹奏楽部

オープニングムービー

1. 開式宣言
2. 国歌斉唱
3. JCソング斉唱
4. JCIクリード唱和
5. JCIミッション唱和
6. JC宣言文朗読並びに綱領唱和
7. 理事長挨拶
8. 来賓祝辞
徳島県知事
美馬市長
つるぎ町長
日本青年会議所会頭
日本青年会議所四国地区協議会会長
徳島ブロック協議会会長
9. 歴代理事長紹介・歴代理事長代表挨拶
10. スポンサー JC(阿波池田JC)への感謝状・記念品贈呈
11. スポンサー JC(阿波池田JC)理事長挨拶
12. 閉式宣言



オープニングアクト 脇町高校吹奏楽部



一般社団法人 美馬青年会議所
40th
MIMA
設立40周年 記念式典

オープニングアクト



演奏の動画をご
覧いただけます。



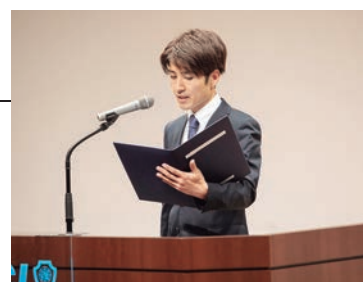


オープニングムービー

開式宣言



JCIクリード唱和



JCIミッション
JCIビジョン唱和



JC宣言文
並びに綱領唱和



理事長挨拶



40th MIMA
Member Chapter International Japan

一般社団法人 美馬青年会議所 2021年度 組織図

一般社団法人
美馬青年会議所

全国で692番目に誕生
現在 会員33名在籍

JCI

第40代理事長
遠藤 圭介

一般社団法人 美馬青年会議所 設立40周年 ご挨拶



理事長挨拶





(一社)美馬青年会議所
第40代理事長
遠藤 圭介
Keisuke Endo

設立40周年記念誌ご挨拶

私たち、一般社団法人美馬青年会議所は、1981年に公益社団法人阿波池田青年会議所をスポンサーに仰ぎ、旧美馬郡(現美馬市、つるぎ町)を活動エリアに全国で692番目の青年会議所として誕生しました。それ以来、地域住民の方々や行政、企業、団体、そして多くの諸先輩方に支えられながら、一步一步歴史を刻み続けた結果として、設立40周年という節目を迎えることができました。40周年は、1つの区切りであるとともに、組織として次の10年に向けてのスタートだと考えています。今まで諸先輩方が創ってきた組織の色を受け継ぎつつ、日々変わりゆく時代の中、明確な強い意志を持って、新しい色を現役メンバーで創っていこうと考えています。この節目の年に、これまで一般社団法人美馬青年会議所にご支援をいただいた方々へ感謝の気持ちを表すと共に、次の10年に向けての新たな歴史を創っていく覚悟を表明するために、設立40周年ハイブリッド記念誌を発行させていただきます。

昨年2月から急速に新型コロナウイルスが蔓延し、これまで当たり前だったものが当たり前ではなくなり、様々な面で世界中が大きな変化を余儀なくされてきました。そして、それは我々青年会議所も例外ではありませんでした。2021年8月21日に集合形式にて開催予定の設立40周年記念式典に対しても、メンバー全員で悩み、議論しましたが、残念ながら現在のコロナ禍の状況を踏まえ、中止の決断をさせていただきました。今まで諸先輩たちが、大切に紡いできたものを切ってしまった気持ちになり、今でも決断が正しかったのかどうか、心にしこりが残っています。

しかし、どんな状況においても、悲観ばかりするのではなく、その時代の中で自分たちが今やるべきことを考え、未来を見据えて全力で行動し続けることが我々青年会議所の使命だと考えています。私は、日々変わりゆくこれからの時代を乗り越えるため、そして私たち自身が、さらに幸せになるためにも、自分の豊かさや、幸せだけでなくまわりの豊かさ、幸せを考えるべきだと思います。自分のまわりの人(家族、友人)、自分の所属する組織(L O M、会社)、社会(国、地域)などのことを考え、自分の心を広げていくことは、豊かな社会を築くことに貢献できるとともに、自分の心をもっと豊かにし、様々な人とより良い未来へ、ともに進むために必要だと考えています。我々青年会議所の運動を通じてメンバーの「考え方」を育てることにより、このまちの責任世代としての自覚を持ち、明るい豊かな社会を築くことにこれからも貢献していきます。

また、私は、組織には、価値がなければならぬと考えています。その価値は何で決まるのか。それは、その組織に所属する人で決まると思います。美馬青年会議所は、自らを高め、地域社会と共に成長する志を持った青年の集まりであり、自発的に運動を行う組織であるべきだと考えています。メンバー一人ひとりが組織の運動を理解し、組織における自らの立場を全うすることにより、美馬の地を愛し、まちに対して責任を背負える人財が育つと信じています。そうした人財を輩出し続けることにより、私たちの住み暮らすまちに対して、責任を背負えるリーダーを継続的に生み出すことが、美馬青年会議所としての組織のあるべき姿だと考えています。

そして、メンバーが自分たちの運動内容を、自信を持って語れるようになることで、一人ひとりの自信に繋がり、そしてそれは組織全体の自信と評価に繋がっていきます。共に切磋琢磨し、目的達成のための課題を解決していく中で生まれてくる仲間意識は、青年会議所運動を自発的に行っていくことによりできるものだと考えています。美馬青年会議所に所属していることに価値を見出してもらい、メンバー自身がすでに持っている様々な価値を膨らませ、成長することのできる場所だと感じてもらいたいと考えています。そして、自分自身が成長し、自己肯定感を高め、自分の価値を見出すことによって、組織さらには自分たちの住み暮らすまちの中で価値あるリーダーになれると信じています。

また、次の10年に向けて組織を維持するためには、会員拡大を行うことが必要不可欠です。しかし、近年問題視されている生産年齢人口の減少により、私たちの地域でも会員拡大が難しいものになっているのが現状です。ただ、会員拡大を組織を維持するための活動として行うのではなく、私たちの地域を愛し、地域に対して責任を背負える人財を継続的に生み出すための運動として行うことが大切です。そのことを、メンバーが理解し自分たちの運動に対して自信を持って語れるようになることで、メンバー一人ひとりが価値ある人財になり、この地域の同世代の青年から見て価値ある組織になると信じています。

最後になりましたが、これまで設立40周年の歴史に対して、ご支援いただいた多くの皆様、諸先輩方に感謝を申し上げると共に、これからの一般社団法人美馬青年会議所の成長、発展をお約束させていただいて、挨拶とさせていただきます。



徳島県知事
飯泉 嘉門
Kamon Izumi

一般社団法人美馬青年会議所が記念すべき設立40周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

美馬青年会議所におかれましては、昭和56年の設立以来、40年の長きにわたり、地域経済の振興や地域を担う「ひとづくり」など、美馬市・つるぎ町の発展、ひいては徳島県の発展に多大なるご貢献をいただいております。

これもひとえに、歴代理事長はじめ、役員、会員の皆様の溢れる熱意と弛まぬご努力の賜であり、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

現在、県では、「人口減少」、「災害列島」、「新型コロナ」の3つの国難を打破するため、「デジタル社会」及び「グリーン社会」の実装を重点テーマに掲げ、アフターコロナを見据えた未来への取組みを加速しているところです。

こうした中、次世代を担う皆様が、熱き情熱と高い志をもって地域社会の発展のために自発的に行動されていることは、誠に心強い限りであります。どうか、美馬青年会議所の皆様には、このたびの佳節を契機に、ますます結束を固められ、なお一層積極的な活動を展開されますよう、心よりお願い申し上げます。

結びに、美馬青年会議所の更なる飛躍と、会員の皆様の今後ますますのご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

記念誌発刊にむけて

一般社団法人美馬青年会議所が設立40周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

貴会におかれましては、「個人の修練、社会への奉仕、世界との友情」を基本姿勢に、まちづくり事業、青少年育成事業を通じた人づくりなど幅広い分野にわたり、数々の輝かしい実績を積み重ねてこられました。その中でも、西日本最大規模の「にし阿波」の花火大会はみなさんの記憶の中に刻まれるような、素晴らしい物でした。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、40周年記念式典開催中止など活動が制限される中で、WEBサイト「テイクアウトみま」を開設し、コロナ禍で落ち込んでいた地域経済の活性化に貢献されるなど、貴会の会員各位のご尽力に深く敬意を表する次第であります。

さて、美馬市は合併16年目、私自身も市政の舵取り役として2期目を迎え、「美来創生のまち美馬市～一歩先の確かな未来へ～」第2ステージがスタートいたしました。

今後もこれまで以上に、様々な地域課題の解決に向けて失敗を恐れず、各種施策に果敢に挑戦してまいりますので、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びとなりますが、貴会のますますのご発展と、理事長様をはじめ役員各位並びに会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしましてお祝いのことばといたします。



美馬市長
藤田 元治
Motoharu Fujita



つるぎ町長
兼西 茂
Sigeru Kanenishi



(公社)日本青年会議所
会頭
野並 晃
Akira Nonami

美馬青年会議所設立40周年を祝して

一般社団法人美馬青年会議所が、数々の輝かしい実績を築き上げながら本年、設立40周年を迎えられましたことは、誠に喜ばしく衷心よりお喜び申し上げます。

「共生～より良い未来へ、ともに進もう～」を基本理念に、日々積み重ねてこられたご努力に対し、設立当初から今日に至るまでの歴代理事長さまはじめ会員の方々のご苦労に深甚なる敬意を表するものでございます。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界規模での人々を取り巻く生活様式は大きく変わりました。各国の経済成長の低迷のみならず、医療体制のひっ迫や貧困層の格差拡大など深刻な問題は多岐にわたっており、ポストコロナ時代に向けて新しい生活様式を取り入れながら、経済再生と社会発展の実現は容易なことではありません。

しかしながら、新しい社会・新しい時代は、新しい感覚と若い情熱によって建設されることは、歴史の物語るところでありまして、JCの青年経済人である皆様方におかれましては、必ずや地域の将来に今後も明るい光を投ずるものと信じて疑いません。

終わりに臨み、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と本会がますます発展され、我が郷土、我が国土に、更には世界に輝かしい未来を開かれますよう、心よりご期待申し上げますながら祝辞とさせていただきます。

一般社団法人美馬青年会議所の皆様、設立40周年、誠にありがとうございます。

まず初めに、日頃より公益社団法人日本青年会議所に対し、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

一般社団法人美馬青年会議所の皆様におかれましては、40周年という記念すべき年である本年度、遠藤圭介理事長の掲げる基本理念である「共生～より良い未来へ、ともに進もう～」のもと、諸先輩方が創られた組織の色を受け継ぎつつ、日々変わりゆく時代の中、明確な強い意志を持って、新しい色を創られると伺っております。次の10年に向けて、地域社会に必要とされる組織、会員にとって価値のある組織、未来に繋ぎ成長し続ける組織、真の組織を追求し続けていかれることをご期待申し上げます。

本会としては、「輝く個が切り拓く 真に持続可能な国 日本の創造」を掲げ、あらゆるカウンターパートと共鳴し、新たな価値を共創し、共感の輪を描く運動を展開してまいります。引き続き本会に対し、深いご理解、ご支援を賜るとともに、大いにご活用頂ければ幸いです。

結びに、貴青年会議所のさらなるご発展、並びに地域において素晴らしい成果を出されること、先輩諸氏、現役会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

Idea&Action 光を放つ起点となろう！



(公社)日本青年会議所
四国地区協議会
会長
丹生 兼嗣
Kanetsugu Nibu

一般社団法人美馬青年会議所様が40周年を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。貴青年会議所は今まで熱い情熱と誇り高い志を持ち地域の発展に寄与してこられました。また、その青年会議所運動の灯を絶やすことなく受け継いでこられた歴代理事長の皆様をはじめ、シニアクラブ並びに現役メンバーのご尽力に対しまして四国地区協議会を代表して心より敬意を表します。

また、本年も四国地区協議会に多くの出向者を御輩出して頂くとともに、私たちの運動にご協力頂いておりますことに改めて深く感謝申し上げます。

40周年を迎えた本年度、遠藤圭介理事長が掲げる「共生～より良い未来へ、ともに進もう～」のスローガンのもと、昨今のコロナ禍においても、人・まち・未来の為にメンバーが心をつにし、自己の資質向上と活気ある地域創造に向けて、常識にとらわれず勇敢に挑戦し続ける貴青年会議所の運動は我々 JAYCEE の誇りであるとともに、地域にとってもかけがえのない財産であり、同じ四国の中で活動・運動する青年会議所として共に学び、共に切磋琢磨して歩んでいける素晴らしい仲間であると確信しております。

さらに、四国地区協議会としましても本年度基本理念である「個の輝きが未来を照らす安心・安全で自立した四国の確立」を目指し、出向頂いているメンバーの皆様とより良い未来へ、共に邁進する一助となり得るような成長と気づきの機会を提供できるよう引き続き努力する所存でございます。

結びとなりますが、この記念すべき年を契機に同志の皆様がより一層強く結束し、新型コロナウイルスにより社会が大きく変容している現状においても、今まで培われてきた40年の英知と勇気と情熱をさらに昇華させ、新たな歴史の第一歩となるべく力強い志を持って青年としての使命を果たし続けていくことを心よりご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



(公社)日本青年会議所
四国地区
徳島ブロック協議会
会長
廣浦 雅俊
Masatoshi Hiroura

一般社団法人美馬青年会議所が設立40周年を迎えられましたこと、徳島ブロック協議会を代表して心よりお慶び申し上げます。また、長い歴史の中で、徳島ブロック協議会の運営に多大なるご協力を頂いておりますことに深く感謝申し上げます。

1981年に誕生し、地域経済の活性化はもとより、ひとづくりまちづくりを通じた故郷の発展にも貢献されてこられた諸先輩方をはじめ、メンバーの皆様の情熱に対し敬意を表します。

さて、昨今の日本は、人口減少や異常気象、長引く景気の停滞など、様々な情勢が厳しさを増しております。加えて、昨年開催予定となっていた東京オリンピックは、新型コロナウイルスの影響により1年順延され、本年度2021年の開催となりました。これまでの日常が大きく制限され、国全体として転換期を迎えています。

しかし、イノベーションは制限の中から生まれます。私達は歩みを止めることなく、新たな価値を生み出す社会の変化を起こさなければなりません。

結びとなりますが、設立40周年を迎えられた一般社団法人美馬青年会議所の皆様、その結束を今以上に強固なもとし、次世代を担う集団として益々発展されますことをご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

歴代理事長

- 1981 • 初代 山内 昭典
Akinori Yamauchi
- 1982 •
- 1983 • 第2代 藤見 親義
Chikayoshi Fujimi
- 1984 • 第3代 浪越 繁男
Shigeo Namikoshi
- 1985 • 第4代 脇川 弘志
Hiroshi Wakikawa
- 1986 • 第5代 森 廣一
Hiroichi Mori
- 1987 • 第6代 森西 博昭
Hiroaki Morinishi
- 1988 • 第7代 原 政義
Masayoshi Hara
- 1989 • 第8代 西野 善久
Yoshihisa Nishino
- 1990 • 第9代 佐藤 順二
Junji Sato
- 1991 • 第10代 宇民 俊博
Toshihiro Utami
- 1992 • 第11代 小田 一夫
Kazuo Oda
- 1993 • 第12代 宮本 公司
Koji Miyamoto
- 1994 • 第13代 森 靖
Yasushi mori

- 1995 • 第14代 南 恒生
Tsuneo Minami
- 1996 • 第15代 小田 一城
Kazuki Oda
- 1997 • 第16代 逢坂 伸司
Shinji Osaka
- 1998 • 第17代 秦 健司
Kenji Hata
- 1999 • 第18代 浜口 伸一
Shinichi Hamaguchi
- 2000 • 第19代 前野 光広
Mitsuhiro Maeno
- 2001 • 第20代 澤田 篤也
Atsuya Sawada
- 2002 • 第21代 藤田 茂樹
Shigeiki Fujita
- 2003 • 第22代 浪越 憲一
Kenichi Namikoshi
- 2004 • 第23代 河合 純治
Junji Kawai
- 2005 • 第24代 北條 健彦
Takehiko Hojo
- 2006 • 第25代 和田 敏行
Toshiyuki Wada
- 2007 • 第26代 森 清一
Seichi Mori
- 2008 • 第27代 田渕 宏樹
Hiroki Tabuchi

- 2009 • 第28代 三好 亘
Wataru Miyoshi
- 2010 • 第29代 遠藤 公信
Hironobu Endo
- 2011 • 第30代 廣川 雅英
Masahide Hirokawa
- 2012 • 第31代 吉田 宥玄
Yugen Yoshida
- 2013 • 第32代 内藤 貴喜
Takayoshi Naito
- 2014 • 第33代 藤野 克彦
Katsuhiko Fujino
- 2015 • 第34代 一井 真憲
Masanori Ichii
- 2016 • 第35代 蔭山 勝利
Katsutoshi Kageyama
- 2017 • 第36代 秋山 学
Manabu Akiyama
- 2018 • 第37代 郡 一志
Kazushi Kori
- 2019 • 第38代 高木 伸也
Shinya Takagi
- 2020 • 第39代 佐藤 直樹
Naoki Sato
- 2021 • 第40代 遠藤 圭介
Keisuke Endo



(一社)美馬青年会議所
歴代理事長
代表
逢坂 伸司
Shinji Osaka

一般社団法人 美馬青年会議所の設立40周年によせて

美馬青年会議所の設立40周年、おめでとうございます。

現役の会員の皆さんはもとより、設立以来の幾多の会員の皆様の大変な苦勞と努力によって、今日を迎えられたことを誇りに思います。

ご承知のとおり、今日の世界はインターネットの普及や多様なSNS等によってコミュニケーションの手段ひとつをとっても30~40年前とはまるで別世界です。

JCの活動の方法も少人数で効率よくスマートになってきたのを感じるのは私だけでしょうか？

そんな中、コロナ禍が日々の生活を襲い、JCも、企業も、家庭も大変な痛手を被りました。しかし現役の会員諸君が困難を乗り越えながら、様々な工夫とIT技術を駆使してJC活動をされている姿を見るにつけ、大いに元気づけられました。

JCの活動の目的は本人の成長や社会への貢献であったり、会社への還元など様々ですが、「今していること」が将来の自分や周り、社会貢献へのあるべき道筋の途中である、というぶれない意識が大切だと思います。

今後とも美馬青年会議所が発展し成長してゆくよう、現役とシニアが手を取って50周年、100周年に向けてともに歩んでゆきましょう。

スポンサー JC 記念品贈呈



スポンサー JC 挨拶



閉式宣言





協町ロータリークラブ
会 長
北川 一郎
Ichiro Kitagawa



美馬ロータリークラブ
会 長
廣澤 誠治
Seiji Hirose

祝 辞

一般社団法人美馬青年会議所が、設立40周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴青年会議所は、1981年の設立以来、40年の長きにわたり、「美馬の地」の若きリーダーとして、地域社会の発展と活性化に貢献してこられました。「美馬の地」を愛し、「住み暮らすまち」に責任を背負えるリーダーを輩出し続けられましたことは、遠藤理事長をはじめ、OBの皆様、歴代の役員及び会員の皆様のご尽力の賜と心から敬意を表します。

さて、貴青年会議所の本年度の基本理念は「共生～より良い未来へ、ともに進もう～」です。また、ロータリークラブには、「手に手つないで」という歌があります。時代は、コロナ禍です。今こそ地域社会のために、「住み暮らすまち」をよりよくするために、「美馬の地」の輝かしい将来に向けて、お互いに手を取り合って共に進もうではありませんか。

会員の皆様には、地域を牽引する若きリーダーとして、弊クラブに引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人美馬青年会議所のますますのご発展と、皆様のご健勝、ご活躍を心よりご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

設立40周年に寄せて

一般社団法人美馬青年会議所の設立40周年おめでとうございます。

まずは、貴会議所が美馬地域において「修練」「奉仕」「友情」の三つの信条のもと、より良い社会づくりをめざし、ボランティアや行政改革等の社会的課題に積極的に取り組まれておられることに対しまして、同じく奉仕活動団体として活動しております当クラブ会員一同心より敬意を表したいと思います。

さて、当クラブは、協町ロータリークラブ会員11名が同クラブの提唱のもとに2006年に新たに創立いたしました。ロータリークラブは、会議所同様に、「自己啓発」「奉仕」「親睦」を理念として、五大奉仕活動を通じて地域社会や国際社会で活動する奉仕団体であります。

青年会議所の会員は、40歳までとなっており、卒業された会員の多くがロータリークラブの会員となっておりますが、当クラブにも5名の卒業生が在籍しております。

美馬地区において、数多くの個人や団体が奉仕活動されておりますが、貴会議所にはエネルギーな行動力、タイムリーで的確な活動力などその中心的な団体としてますますその活動が期待されております。

更なる50周年に向けて、貴会議所がご隆盛ご活躍されんことをご祈念申し上げます。



脇ライオンズクラブ
会 長
都築 啓子
Keiko Tsuzuki

祝 辞

一般社団法人美馬青年会議所が設立40周年を迎えられたこと、脇ライオンズクラブ会員一同心よりお慶び申し上げます。同じ地域で活動する私達のクラブには、貴青年会議所の卒業生や知人も多くいて、皆様方の高揚されたお顔が目にかびます。

40歳未満の青年で構成される貴青年会議所は、その若さを生かし団結力と行動力で活力ある地域づくりに貢献されてきました。長年に渡り子ども達に夢を与えた「ちびっこ相撲」、地元は勿論県内外の人々に感動を与えた「にし阿波の花火大会」、記憶に新しいところでは、突然穴吹川に打ち上がった花火があります。コロナ禍で苦境に立つ地域の飲食業者救済のための「テイクアウトみま」の取り組みのパンフレットも拝見いたしました。

私達の美馬地域は、過疎化、少子高齢化等大きな課題を抱えています。加えて、コロナ禍終息後の課題も生じています。皆様方が若い団結力・行動力で地域に明るさを取り戻す機関車になっていただけることを期待しています。

結びに、美馬青年会議所の更なるご発展と会員の皆様のますますのご健勝、ご多幸を祈念いたしましてお慶びの言葉と致します。

祝 辞

一般社団法人美馬青年会議所が設立40周年を迎えられましたことを心からお祝いとお慶びを申し上げます。

美馬青年会議所におかれましては、1981年設立以来、新しい理想に燃えた青年諸氏が中心となり、常に若い英知と行動力を結集し新しいまちづくりに邁進されてきたところであり、これまでのご功績に深く敬意を表する次第であります。

人づくり、まちづくり、特にその活動の主なものとして、こどもわんぱく相撲、四国最大級の花火大会など、数々の事業を推進され、地域の活性化に多大な貢献をされていること喜ばしく存じます。

今、新型コロナウイルス感染症拡大の中で、地域経済社会においても大きな影響が出ておりますが、人々が支え合いながら地域に根付いた活動がますます必要とされております。脇町法人会も、美馬青年会議所様と共に、私達の住み暮らすまちに貢献し、地域の発展のために尽力していきたいと願っております。

結びにあたり、美馬青年会議所の今後ますますのご発展と会員の皆様のご活躍、ご多幸とご健勝を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



脇町法人会
会 長
根本 長茂
Michitaka Nemoto



美馬市商工会
会 長
蔭山 泰章
Yasuaki Kageyama



つるぎ町商工会
会 長
阿佐 哲也
Tetsuya Asa

祝 辞

このたびの「美馬青年会議所40周年記念誌」の発刊を心よりお慶び申し上げます。
美馬青年会議所におかれましては、設立以降、永年に亘り、若きバイタリティを存分に発揮され、美馬地域の発展、豊かな地域社会の実現に向けた様々な事業に取り組んでこられました。その多岐にわたる事業活動は、地域の人々からも高く評価され、強く支持されています。

率先垂範となる取り組みは、美馬青年会議所の諸先輩氏が築き上げられた伝統と、その志を受け継いだ会員各位の研鑽と努力の賜物であり、衷心より敬意を表します。

美馬市商工会におきましても、景気の低迷、少子高齢化に伴う過疎化や後継者不足等、また新型コロナウイルス感染症による厳しい経済環境下において地域総合経済団体として、地元の商工業者へ様々な支援を行っているところであります。特にコロナ禍での飲食店では厳しい経営の中、当商工会青年部と連携して美馬地域の飲食店のメニューを家庭で食べられるシステム「テイクアウトみま」をいち早く取り入れ、飲食店の方々に応援する事が出来ました。

今後とも皆様との連携を深めながら、明るい豊かな地域社会の創造に繋げていきたいものです。

皆様の更なるご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後に、美馬青年会議所の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞

一般社団法人美馬青年会議所の設立40周年を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。

日頃より商工会とのつながりを大事にしていることに感謝申し上げますと共に、地域活性化に繋がるイベントの企画にすばやく取り組み、熱い気持ちを持って実現していることに深く敬意を表します。

今、新型コロナウイルス感染症拡大の中で地域経済社会においても大きな変化が起きています。都市部集中型から地域分散型に移行していることは私たち地方に住む者にとってチャンスと捉えるべきで、青年会議所の皆様にはその変化を捉えどのように対応していくか、そして俯瞰的視点をもちながら地域を元気にする原動力となっただくことを期待するところであります。

結びにあたり、美馬青年会議所の益々のご発展と基本理念である「共生」の精神をもち続け地域発展のため、遠藤理事長をはじめ会員の皆様方のご活躍を心より祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。



(公社)阿波池田青年会議所
理事長
真鍋 和也
Kazuya Manabe

祝 辞

このたび、一般社団法人美馬青年会議所が設立40周年を迎えられましたこと、スポンサー LOMとして心からお慶び申し上げます。

昭和56年の設立以来長きにわたり、目まぐるしく移り行く時代の中、それぞれの時代に沿った運動を展開し、「明るい豊かな社会の実現」のため、地域社会発展に向け、行政、市民の皆様と共にご尽力された先輩諸賢、そしてその組織の色を受け継ぎ、努力を惜しまない現役メンバーの皆様に深く敬意を表します。

本年、遠藤圭介理事長の掲げた「共生～より良い未来へ、ともに進もう～」の基本理念のもとコロナ禍においても運動・活動を通し、今できることを一歩ずつ進めてこれ、明るい豊かな社会を実現するために邁進する姿は青年会議所としての規範とするところであります。貴青年会議所が地域にとってなくてはならない存在であり続け、理事長所信にもありますようメンバー一人ひとりが自覚を持ち、課題に対し共に悩み、運動をおこし、自発的に行動し共に成長し、より力強い美馬青年会議所としてご活躍されますことをご期待申し上げます。

新型コロナウイルスの影響は世界に広がり、未だ終息は見えておりません。先が見えない中、不安や困難が立ちまわります。そんな中だからこそ私たち青年会議所の行動力と柔軟な発想が、地域にとって必要不可欠だと思っています。「どうありたいのか」、「どうあるべきか」、「今、解決すべき課題は何か」を常に考え、地域に希望を、子供たちに笑顔を与え、情熱をもって歩みを止めることなく、共に取り組んでいきましょう。

結びとなりますが、一般社団法人美馬青年会議所が記念すべき40周年を新たなスタートとして、地域からのより一層の信頼を集め、仲間との結束を強固に、周りへの感謝を忘れることなく、更なる飛躍に向け力強く歩まれることを、今後とも両青年会議所の相互友情を育みつつ切磋琢磨し、協力関係が変わることなく続きますよう心からご祈念申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

40年のあゆみ



美馬青年会議所 設立 10周年記念式典
(1991年)

1981 1982 1983 1984 1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992 1993 1994 1995 1996 1997 1998 1999 2000 2001



10周年誌



20周年誌



美馬青年会議所 設立 20周年記念式典
(2001年)



美馬青年会議所 設立 30 周年記念式典
(2011 年)

2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021



30 周年誌



40 周年誌



美馬青年会議所 設立 40 周年記念式典
(2021 年)

1981.82

初代理事長
山内 昭典
Akinori Yamauchi

主な事業

- ファミリー例会
- 第1回献血運動
- 第2回献血運動
- 徳島ブロックソフトボール大会
- 第1回ちびっ子相撲大会
- 美馬JCサミット委員会

スローガン 我々は「英知と勇気と情熱」をもって社会につくします



1982年 当時の出来事

- ホテル・ニュージャパン火災事故
- 東北・上越新幹線が開業
- 羽田沖で日航機墜落事故
- 長崎集中豪雨、死者・行方不明者計299人
- 鈴木首相退陣

1983

第2代理事長
藤見 親義
Chikayoshi Fujimi

主な事業

- 第2回桜いっぱい運動(美馬JC統一事業)
- 美馬JC親睦ソフトボール大会
- 四国地区統一事業「幸福の翼」
- 第2回美馬ちびっ子相撲大会

スローガン 「魅力ある地域社会を創るためにわれわれは何をなすべきか」



1983年 当時の出来事

- 田中角栄元首相に実刑判決
- 三宅島大噴火
- 大韓航空機撃墜事件
- 戸塚ヨットスクール校長を逮捕
- 日本海中部地震、東北に被害
- NHKドラマ「おしん」ブーム

1984

第3代理事長
浪越 繁男
Shigeo Namikoshi

主な事業

- 三世代交流ゲートボール大会
- 美馬JC・LD道場
- 日中文化交流音楽会
- 第3回美馬ちびっ子相撲大会
- 韓国コーチャンJC訪問
- 第3回桜いっぱい運動

基本方針 「会員相互の結束を強め、その啓発を計る」



1984年 当時の出来事

- グリコ・森永脅迫事件
- ロス五輪で山下泰裕選手らが金
- 3種同時の新札発行
- ロス疑惑
- 三井有明鉱火災で死者83人

1985

第4代理事長
脇川 弘志
Hiroshi Wakikawa

主な事業

- じゃがいもゴルフ大会
- 第4回ちびっ子相撲大会
- 第2回三世代交流
- ゲートボール大会
- MIA研修会
- 家族会 (阿南YMCA)
- うだつの城下まつり
写生大会主催

基本方針 I.委員会の活性化II.地域の活性化とJC運動III.メンバーのパワーと拡大



1985年 当時の出来事

- 日航ジャンボ機墜落事故
- 阪神タイガース、21年ぶりの
リーグ優勝&初の日本一

- 男女雇用機会均等法が成立
- ファミコン用ゲームソフト
「スーパーマリオブラザーズ」発売

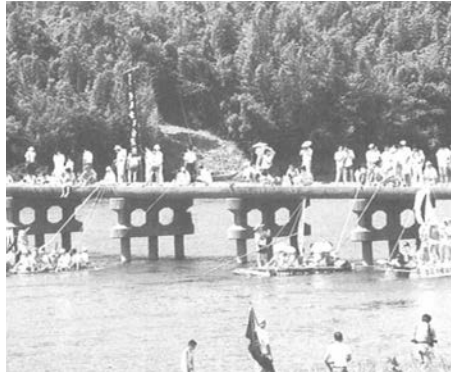
1986

第5代理事長
森 廣一
Hiroichi Mori

主な事業

- 第1回美馬青年会議所
公開講座
- 第3回三世代交流
ゲートボール大会
- 第5回ちびっ子相撲大会
- 主管
「LOVE吉野川
いかだ下り大会」

スローガン 修練、友情、そして町づくり



1986年 当時の出来事

- チャレンジャー打ち上げ失敗、
乗組員7人が死亡
- チェルノブイリ原発事故発生

- 三原山噴火、全島民が島外へ避難
- ドラゴンクエスト発売
- フジカラー「写ルンです」発売

1987

第6代理事長
森西 博昭
Hiroaki Morinishi

主な事業

- 献血運動に参加
- 家族会 (穴吹町・尾山)
- 第6回美馬
ちびっ子相撲大会
- 第4回三世代交流
ゲートボール大会
- 韓国コーチャンJC訪問
- フォラソン・IN・美馬



1987年 当時の出来事

- 朝日新聞阪神支局襲撃事件
- 東証平均株価が初めて
2万円台を突破

- 石原裕次郎死去、享年52歳
- 利根川進、ノーベル医学生理学
賞に決定

1988

第7代理事長
原 政義
Masayoshi Hara

主な事業

- 第5回三代交流
ゲートボール大会
- うだつの城下まつりへ
イベント参加
- 穴吹いかだ下りレースへ
友情参加
- 日中友好コンサート



1988年 当時の出来事

- 3億円事件の民事時効が成立
- 東京ドーム完成
- ドラゴンクエストIII発売

- 瀬戸大橋開通
- 青函トンネルを含む、
JR津軽海峡線開業

1989

第8代理事長
西野 善久
Yoshihisa Nishino

主な事業

- 京都会議
- 西部3ロム合同例会
- 新入会員
オリエンテーション
(木屋平 平成荘)
- 美馬郡内中学生と
外国人とのつどい

基本方針 1.会員の拡大と質的向上 2.委員会活動の活性化



1989年 当時の出来事

- 昭和天皇崩御
- 新元号「平成」を公布
- 消費税3%を実施

- 竹下首相退陣、宇野内閣発足
- ベルリンの壁、崩壊
- 美空ひばり死去、享年52歳

1990

第9代理事長
佐藤 順二
Junji Sato

主な事業

- 家族会
(グリーンヒルあなぶき)
- 社日本青年会議所
会頭公式訪問例会
- テーマウォークイン剣山
- サンコン
ふれあいコンサート
(オースマン・サンコン氏)

スローガン パワーUP JC・パワーUP美馬



1990年 当時の出来事

- 尼崎市の長崎屋で火災、15人死亡
- ソ連初代大統領に
ゴルバチョフが就任

- 任天堂、「スーパーファミコン」発売
- 日本人初のスペースシャトル飛行士
が毛利衛さんに決定

1991

第10代理事長
宇民 俊博
Toshihiro Utami

主な事業

- 美馬リバーサイドフェスティバル
- (一社)美馬青年会議所設立10周年記念
- 第10回ちびっこ相撲大会で女子が優勝し全国大会国技館での土俵入りが問題となる

スローガン 1991 美馬の乱 燃えます 燃えさせます 私たちの故郷 明日の美馬の為に



1991年 当時の出来事

- 湾岸戦争、勃発
- 雲仙普賢岳、大噴火。火砕流による死者・行方不明者合わせて43人に

- 信楽高原鉄道で列車正面衝突、死者42人
- 横綱千代の富士、引退表明

1992

第11代理事長
小田 一夫
Kazuo Oda

主な事業

- 音楽演奏会
- 第11回美馬ちびっこ相撲大会

基本理念

Communication Mima 我がふるさと"美馬"について語り合おう。
明日の新しい町づくり、人づくり、故郷づくりの為に。



1992年 当時の出来事

- バルセロナ五輪開幕、岩崎恭子が14歳で史上最年少の金メダル
- 東海道新幹線「のぞみ」運行開始

- きんさん・ぎんさんブーム
- 尾崎豊死去、享年26歳
- 松井秀喜、甲子園で5打席連続敬遠

1993

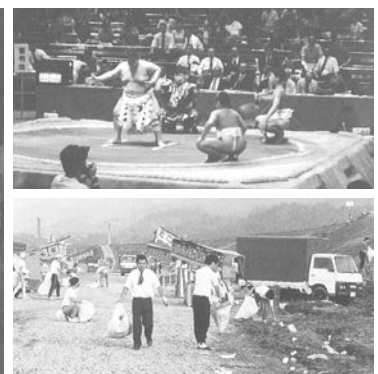
第12代理事長
宮本 公司
Koji Miyamoto

主な事業

- 徳島ブロック協議会会員大会主管
- 第12回美馬ちびっこ相撲大会

基本理念

WAR CRY 今、若き情熱をこめて



1993年 当時の出来事

- 皇太子・浩宮徳仁さまと雅子さまが婚約
- 北海道南西沖地震、死者231人

- サッカー「Jリーグ開幕」「ドーハの悲劇」
- 政治家 田中角栄死去

1994

第13代理事長
森 靖
Yasushi Mori

主な事業

- 第13回
ちびっこ相撲大会
(相撲大会の名称を美馬郡
から徳島県予選に変更)

基本理念 HEART In ハート(熱き心に感動を…)



1994年 当時の出来事

- 長野県松本サリン事件、死者7人
- 宇宙飛行士・向井千秋さんが
女性として初の宇宙飛行
- 関西国際空港が開港
- イチロー、史上初の
年間200本安打達成

1995

第14代理事長
南 恒生
Tsuneo Minami

主な事業

- 第14回ちびっこ相撲
徳島県予選
- 淡路・阪神大震災の
復興支援、人員派遣活動

基本方針 美馬を、地球を、真剣に愛し、真剣に考え、真剣に行動する



1995年 当時の出来事

- 阪神淡路大震災
死者6595人、負傷者27000人、
11万戸の住宅が倒壊
- 地下鉄サリン事件
死者13人、重軽傷者5000人以上
- オウム真理教教祖、松本智津夫逮捕

1996

第15代理事長
小田 一城
Kazuki Oda

主な事業

- 2泊3日 鐘の鳴る丘
(阪神大震災によって心
に障害を持った子ども
たちを招待)
- 穴吹川いかだ下り参加
- 天文教室
- 第15回ちびっこ相撲
徳島県予選

基本理念 ちょっとだけCHANGE



1996年 当時の出来事

- 北海道豊浜トンネル岩盤崩落、
死者20人
- アトランタ五輪開幕、日本はメダル14個
- 「O-157」による食中毒が発生
- ペルー日本大使館公邸人質占拠事件
- 渥美清死去、国民栄誉賞を呈呈

1997

第16代理事長
逢坂 伸司
Shinji Osaka

主な事業

- 現在の事務局が完成
- 第16回ちびっこ相撲 徳島県予選
- わんぱく相撲全国大会 4年生の部優勝

基本理念

基本に立ちかえり、今一度、燃えてみよう
Remember Your Heat Heart



1997年 当時の出来事

- 神戸市連続児童殺傷事件 (酒鬼薔薇事件)
- 消費税が3%から5%に引き上げ

- 香港がイギリスから中国に返還
- イギリス元皇太子妃ダイアナ、事故死

1998

第17代理事長
秦 健司
Kenji Hata

主な事業

- 第17回ちびっこ相撲 徳島県予選
- わんぱく相撲全国大会 5年生の部優勝
- 第47回全国会員大会が徳島で開催される

基本理念

Let's Begin!! ~未来のために~



1998年 当時の出来事

- 和歌山ヒ素混入カレー事件
- 明石海峡大橋が開通
- 長野冬季五輪開幕

- 日本はメダル10個
- 貴乃花と若乃花、史上初の兄弟横綱誕生

1999

第18代理事長
浜口 伸一
Shinichi Hamaguchi

主な事業

- 美馬郡観光マップ着手
- 第18回ちびっこ相撲 徳島県予選
- わんぱく相撲全国大会 6年生の部優勝、団体4位
- 南恒生君が四国地区協議会会長に選任される

基本理念

『Hand In Hand!』自ら志を持ち、互いに手を取り合って夢を実現しよう!



1999年 当時の出来事

- 茨城県東海村臨界事故
- 山口県光市母子殺害事件
- 改正住民基本台帳法が成立

- ジャイアント馬場死去、享年61歳
- だんご3兄弟ブーム

2000

第19代理事長
前野 光広
Mitsuhiro Maeno

主な事業

- 西部3LOM
合同例会主管
- 第27回
ブロック会員大会主管
- 美馬郡観光マップ完成
- 市町村合併についての
勉強会

基本理念 サイコウ 美馬



2000年 当時の出来事

- シドニー五輪開幕、
女子マラソンで高橋尚子が
大会新記録で金メダル獲得

- 世田谷一家殺人事件
- 紫式部を肖像とした2000円札が
発行

2001

第20代理事長
澤田 篤也
Atsuya Sawada

主な事業

- (一社)美馬青年会議所
設立20周年記念式典・
大懇親会
- 「よりよい町づくりを考える会」
2,000人
パネルディスカッション
- 第20回ちびっこ相撲
徳島県予選

Human Reality and Essence

私達は地球市民であると共に志民でなければなりません。

JCの活動は市民と志民を環く媒体であり、地道な活動こそが地球市民である証だと思ひます。

基本方針

本質を探究し、本音で語り合い、豊かな地域社会の構築に努力を惜しみません。また、その活動こそが自己修練にも結びつくものと思ひます。

21世紀の未来は私達の手でスタートさせましよう。



2001年 当時の出来事

- 9.11アメリカ同時多発テロ事件
- 新宿歌舞伎町雑居ビル火災、
死者44人

- 大阪池田小学校児童殺傷事件
- 皇太子妃雅子さまが第1子をご出産
- 小泉純一郎首相内閣が始まる

2002

第21代理事長
藤田 茂樹
Shigeki Fujita

主な事業

- 四国地区協議会
地区フォーラム
(一社)吉野川青年会議所・
美馬青年会議所(主管)
- 柔道古賀稔彦氏 講演
『美馬スポーツシンポジウム』
- 第21回ちびっこ相撲
徳島県予選

基本理念

1 ¹/₂
(ONE HALF)

JCの活動を通して、今ある自分・美馬JCに新しい
プラスを発見してみてください。

きっと、新しい自分・美馬JCを見つけることができるでしょう。
プラス発見の新しいまちづくり、ひとづくり。

新しい未来を見つけよう!!明日の私たちのために。



2002年 当時の出来事

- サッカーW杯日韓共同開催
- 日本人拉致被害者5人が
北朝鮮から24年ぶりに帰国

- ソルトレークシティー冬季五輪開幕
- 雪印食品、相次ぐ不祥事で解散
- 住民基本台帳ネットワークが稼動

2003

第22代理事長
浪越 憲一
Kenichi Namikoshi

主な事業

- 10名以上の会員拡大に成功
- 美馬JCネットワークの構築
- 第22回ちびっこ相撲 徳島県予選

基本理念 【STEP UP・・・】
目標を持ち、次の街へ次の人生生活(JC生活)へ!



2003年
当時の出来事

- 新型肺炎「SARS」が新感染症に指定
- スペースシャトル「コロンビア」が空中分解、乗組員7人死亡
- 宮城県北部地震、約5000戸の住宅が被害
- 横綱・貴乃花が引退

2004

第23代理事長
河合 純治
Junji Kawai

主な事業

- 相撲に続き継続事業として第1回ふれあいわんぱく村開催(場所:美村が丘)
- スペシャルオリンピックス 500万人トーチラン in美馬
- 第23回ちびっこ相撲 徳島県予選

基本理念 美馬の未来(あす)へ、未来(あす)の子供たちへ
誇りと勇気、情熱をもって



2004年
当時の出来事

- 新潟県中越地震 被災者10万人以上
- MLBイチロー、シーズン最多安打
- 記録を84年ぶりに更新、262安打を記録
- ドリフターズ・いかりや長介死去

2005

第24代理事長
北條 健彦
Takehiko Hojo

主な事業

- 美馬市長選マニフェスト公開討論会を初めて開催
- 第2回ふれあいわんぱく村(場所:美村が丘)
- 第24回ちびっこ相撲 徳島県予選

基本理念 『合併元年、新たな美馬の創造に向けて』
高めようチームワーク、広げようネットワーク
そして心を伝えようハートワークで!!



2005年
当時の出来事

- JR福知山線脱線事故 死者107人
- 鳥インフルエンザ感染被害
- ローマ法王ヨハネ・パウロ二世が死去
- 大相撲・横綱朝青龍が史上初の7連覇と年間6場所完全制覇を達成

2006

第25代理事長
和田 敏行
Toshiyuki Wada

主な事業

- 第33回
徳島ブロック協議会
会員大会主管
- 西部3LOM合同例会主管
「靖国神社を考える」
- ASPAC高松大会副主管
- 第3回ふれあいわんぱく村
(場所:牟岐少年自然の家)

基本理念 『自己再発見』仲間と歩む新たな挑戦



2006年 当時の出来事

- ライブドア事件、堀江貴文社長が逮捕
- 村上ファンドの村上世彰代表、
証券取引法違反容疑で逮捕
- 福岡市職員による飲酒運転死亡事故
- サッカーW杯ドイツ大会
日本は1次リーグ敗退

2007

第26代理事長
森 清一
Seichi Mori

主な事業

- 市民行政と美馬市観光
を考える
- 夜回り先生
水谷修氏講演
『明日元気になあれ』
- 第4回ふれあいわんぱく村
(場所:美馬・四国三郎の郷)

基本理念 『ATTACKLE』～攻めにつながる守り～



2007年 当時の出来事

- 新潟県中越沖地震
- 郵政民営化がスタート
- ミートホープ食肉偽装事件
- 第21回参議院選挙で
自民党が民主党に歴史的敗北
- 安倍首相退陣、福田内閣誕生

2008

第27代理事長
田渕 宏樹
Hiroki Tabuchi

主な事業

- 金田一秀穂氏 講演
『心地よい日本語』
- 子供科学教室
- 第27回ちびっこ相撲
徳島県予選
- 第5回ふれあいわんぱく村
(場所:高知県・わかしや)

基本理念 『Catch The Dreams!』 ～全ては夢から始まる!夢で創れ 美馬の未来!～



2008年 当時の出来事

- 秋葉原無差別殺傷事件
- アメリカ大統領選でオバマ勝利、
史上初の黒人大統領が誕生
- 中国四川大地震、
死者86000人以上
- リーマン・ブラザーズ経営破綻

2009

第28代理事長
三好 亘
Wataru Miyoshi

主な事業

- 美馬市長マニフェスト説明会
- 芝生園庭化事業
穴吹、江原南、貞光
保育所に芝生を植える
- 第28回わんぱく相撲
徳島県予選
- 第6回ふれあいわんぱく村
(場所:木屋平・中尾山高原)

基本理念 『ベーシック』



2009年 当時の出来事

- 衆議院総選挙、民主党が歴史的勝利
- 裁判員制度がスタート
- 米アカデミー賞で「おくりびと」が
- 外国語映画賞を受賞
- 日本で46年ぶりに皆既日食が観測
- マイケル・ジャクソン急死

2010

第29代理事長
遠藤 公信
Hironobu Endo

主な事業

- 第29回わんぱく相撲
徳島県予選
- 第7回ふれあいわんぱく村
(場所:東かがわ市・
大池オートキャンプ場)
- 徳島ブロック協議会共催
防災事業
- JCI世界会議に参加

基本理念 「自ら考え、判断し、行動する。」



2010年 当時の出来事

- 宮崎 家畜の伝染病・口蹄疫が拡大
- チリ鉱山落盤事故、33人全員を救出
- 殺人事件の時効が廃止に
- 南アフリカW杯、
日本健闘も初のベスト8入りならず
- 大相撲 横綱朝青龍が引退を表明

2011

第30代理事長
廣川 雅英
Hirokawa Masahide

主な事業

- 3LOM合同卒業式
- (一社)美馬青年会議所
設立30周年記念式典・
大懇親会
- うだつの町並み勉強会
- 桑田真澄氏 公演
『夢をあきらめない』

基本理念 美馬が好き!!もっと愛される郷土(まち)へ・ひとへ・JCへ



2011年 当時の出来事

- 東日本大震災
- 原発問題 放射能漏れ
- 北朝鮮の金正日総書記が死去
- アメリカが9.11テロ首謀者、
ビンラディン容疑者を殺害
- 大相撲の八百長発覚、春場所中止

2012



第31代理事長
吉田 宥玄
Yugen Yoshida

主な事業

- 第30回わんぱく相撲
- ふれあいわんぱく村
- みまコン
～恋のうだつをあげよう～
- まほろばクエスト
～脇町ウォーク編～

基本理念 和衷協同 ～尊重し合う精神を協同する未来へ～



2012年 当時の出来事

- 第46回衆院選で自公圧勝、政権奪還
- 京都大学の山中伸弥教授に
ノーベル医学生理学賞
- 韓国大統領に初の女性、朴槿恵氏
- ロンドン五輪で日本勢史上最多、
38個のメダル獲得
- 原発、一時稼働ゼロに

2013



第32代理事長
内藤 貴喜
Takayoshi Naito

主な事業

- スキルアップ例会
- 佐尾山例会
- 第31回わんぱく相撲
- 美馬の魅力発信事業
「地域の宝 探訪!」
- Kidzamima
～キッズミマinパルシー～
- みまコン
～アウトドアから理想の人を～

基本理念 可能性 ∞ ^{無限大} ～光輝く未来を信じて、限りなく挑戦～



2013年 当時の出来事

- アベノミクス始動、異次元緩和で
円安・株高
- 2020年夏季五輪・パラリンピック、
東京開催決定
- フィリピン台風、死者・不明7千人
- 伊豆大島の土石流など自然災害
で被害相次ぐ

2013 キツザミマ



2014



第33代理事長
藤野 克彦
Katsuhiko Fujino

主な事業

- 第32回わんぱく相撲
- 剣山の謎を解く講習会
- 会員拡大セミナー
- ソロモンの秘宝伝説探訪事業
- 感謝祭(家族例会)

基本理念 責任世代の自覚を持って、迷い無く行動する



2014年
当時の出来事

- 衆院選で自民・公明と党圧勝
- 御嶽山が噴火、57人死亡6人不明
- 広島で土砂災害、住宅流され74人死亡
- 赤崎勇教授と天野浩教授、中村修二米教授がノーベル物理学賞受賞
- テニスの錦織圭、全米準優勝

2014、2016、2017 ソロモンの秘宝伝説探訪事業



剣山 ソロモンの秘宝伝説 シンポジウム

「剣山にソロモンの秘宝!」をテーマにしたシンポジウムを開催し、約300人が講演やパネルディスカッションを通じて、古くはマシに思われる山頂の謎を解き明かす。

講演者: 月保一 編纂長 三上太昭氏
コーディネーター: 藤野 克彦 代表理事
司会: 藤野 克彦 代表理事

日時: 平成26年9月6日(土) 13:00~
会場: つるぎ町就業改善センター大会議室
定員: 300名

参加無料

申し込み: 300名を超過する場合はお問い合わせください。

申込方法: 申込書(別紙)をダウンロードし、必要事項を記入の上、送付してください。

お問い合わせ: 事務局 0564-22-1111



2015



第34代理事長
一井 真憲
Masanori Ichii

主な事業

- 第33回わんぱく相撲
- 経営改善セミナー
- 美馬科学体験ミニフェスタ
- これからの自分を考える事業

基本理念 未来を創造し地域で活躍する魅力溢れる青年となる



2015年 当時の出来事

- 過激派組織「イスラム国」が邦人人質を殺害
- 東京オリンピックの新国立競技場建設、エンブレム、計画が白紙に
- ラグビーW杯で歴史的勝利
- 米・キューバ、54年ぶりに国交回復
- 米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設計画、国が着工

2016



第35代理事長
蔭山 勝利
Katsutoshi Kageyama

主な事業

- 青年会議所を語る例会
- 第34回わんぱく相撲
- 家族例会
みんなで調理
- ABCコンテスト
～あわの僕らのチャレンジ～

基本理念 「挑戦」～環境で人は変わり 人は環境を変えることができる～



2016年 当時の出来事

- 天皇陛下(現上皇様)、退位の意向示唆
- オバマ米大統領、広島訪問
- 米大統領選でトランプ氏勝利
- 障害者施設「津久井やまゆり園」で入所者男女19人殺害される
- リオ五輪、過去最多41メダル
- 韓国の朴槿恵大統領、弾劾案可決

2017



第36代理事長
秋山 学
Manabu Akiyama

主な事業

- 4月家族例会
(アンガーマネージメント)
- 第35回わんぱく相撲
- 地域経済活性化事業
- 世界の果てまでイッテ農!
- 青少年育成阿波踊り事業

基本理念 「成長」～ 現在に満足せず未来を創造する ～



2017年 当時の出来事

- 森友・加計・日報問題が安倍政権を揺るがす
- 神奈川県座間市のアパートに9遺体、男を逮捕
- 桐生祥秀、男子100mで9秒98を記録
- 九州北部豪雨で死者・不明41人
- 将棋 藤井聡太四段が29連勝

2018



第37代理事長
郡 一志
Kazushi Kori

主な事業

- 会員拡大事業
- 第36回わんぱく相撲
- 家族例会
- JCを知る講演会
- 青少年事業
- しっとるで!?
世界農業遺産
～のぼりがあがる街並み～
- 美馬防災フォーラム2018
～地域特性を知って
災害を想像することで
1人でも多くの命を
救おう～

基本理念 「進歩」～ 当たり前前に疑問を持ち、常に進化する ～



2018年 当時の出来事

- オウム松本元死刑囚らの刑執行
- 日産自動車のカルロス・ゴーン会長を逮捕
- 西日本豪雨、北海道地震、災害相次ぐ
- 財務省が森友学園文書改ざん、20人処分
- 平昌五輪でメダル13個、冬季最多
- 米朝が史上初の首脳会談

2017 世界の果てまでイッテ農！
2018 知っとるで！？世界農業遺産～のぼりが上がる街並み～



(1) 総合 徳島県美馬郡つるぎ町貞光字大湊賀11-1

国連食糧農業機関(FAO)が「世界農業遺産」に認定した「にし阿波」の傾斜地農耕システムは、傾斜40度にも及ぶ急傾斜の畑で、稲作の歴史を継承し、2017年にFAOに申請された。国内審査を経て、2018年にFAOに申請された。FAOは9日、徳島県を代表して日本、傾斜地農耕システムを「世界農業遺産」に認定した。傾斜地農耕システムは、傾斜40度にも及ぶ急傾斜の畑で、稲作の歴史を継承し、2017年にFAOに申請された。国内審査を経て、2018年にFAOに申請された。FAOは9日、徳島県を代表して日本、傾斜地農耕システムを「世界農業遺産」に認定した。

世界農業遺産に認定

県西部の急傾斜地農法

FAO



2019 にし阿波の花火



2019



第38代理事長
高木 伸也
Shinya Takagi

主な事業

- エンジョイ例会
- 第37回わんぱく相撲
- スキルアップセミナー
- にし阿波花火大会
広報事業
- にし阿波花火大会
- オンライン会議事業

基本理念 「覚悟」～これから起こることを受け入れる決心～



2019年 当時の出来事

- 皇太子徳仁親王殿下が新天皇に即位。新元号「令和」に改元
- 京都アニメーション放火、36人死亡
- 消費税率10%スタート
- 東日本で台風大雨被害、死者相次ぐ
- ノーベル化学賞に旭化成の吉野彰氏
- 沖縄・首里城が火災で焼失
- マリナーズ・イチローが引退表明

2020



第39代理事長
佐藤 直樹
Naoki Sato

主な事業

- テイクアウトみま
- ミマタウン2.0
～100年に一度の大変革!!
アフターコロナの地域
を考える～
- 会員拡大事業
- 40周年事業計画
- 防災連携事業
- 美馬市議会とのウェブ会議
- ブロック大会美馬大会

基本理念 Innovation ～心地よい場所から共に飛び出そう～



2020年 当時の出来事

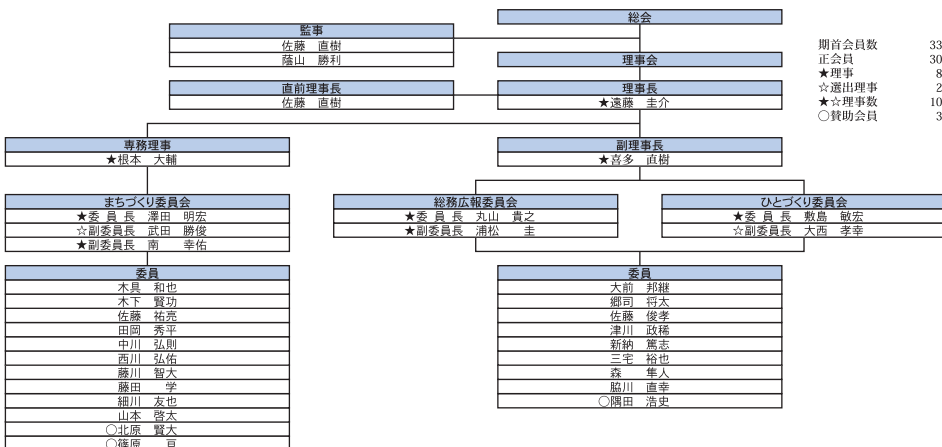
- 新型コロナウイルス感染拡大
- 東京オリンピック・パラリンピック
新型コロナウイルスで1年延期
- 甲子園、春夏中止
- 安倍首相辞任表明、菅新内閣発足
- 新型コロナウイルスで志村けんさん、
岡江久美子さんに死去
- 将棋 藤井聡太七段、最年少タイトル

2021年度（一社）美馬青年会議所 現役会員

 <p>浦松 圭 Kei Uramatsu 1985.8.21 総務広報委員会 副委員長</p> <p>(株)U2Primary 代表取締役 〒779-3601 美馬市脇町拜原665-1 TEL/FAX.0883-53-0776 E-mail w.g.yokunin@u2pwork.xsrv.jp</p> <p>■業種■ 作業販売、卸し</p>	 <p>遠藤 圭介 Keisuke Endo 1983.3.21 理事長</p> <p>(有)西阿運送 代表取締役社長 〒779-3610 美馬市脇町大字脇町字大堀761-4 TEL.0883-53-7238/FAX.0883-53-7268 E-mail info@seia-exp.jp</p> <p>URL http://seia.sakura.ne.jp/ ■業種■ 運送業</p>
 <p>大西 孝幸 Takayuki Onishi 1986.12.30 ひとづくり委員会 副委員</p> <p>社会福祉法人 徳島県手をつなぐ育成会 障害者支援施設ルキーナうだつ 支援員 〒779-3634 美馬市脇町字小屋631番地の1 TEL.0883-53-2411/FAX.0883-53-2412 http://lucina-udatsu.com/ E-mail lucina-udatsu@quolia.ne.jp</p> <p>■業種■ 福祉</p>	 <p>大前 邦継 Kunitsugu Omae 1981.4.15 総務広報委員会 ひとづくり委員会 委員</p> <p>(有)大前青果 代表取締役社長 〒777-0002 美馬市穴吹町三島字舞中島1336-1 TEL.088-628-2350/FAX.088-628-2351 E-mail satsumaimo26@gmail.com</p> <p>■業種■ 青果仲卸</p>
 <p>蔭山 勝利 Katsutoshi Kageyama 1984.5.23 監事</p> <p>蔭山農機(有)ユニバーサル 専務 〒779-3620 美馬市脇町野村4476-11 TEL.080-8631-3735 FAX.0883-52-3737</p> <p>■業種■ 農業機械販売・修理・不動産業</p>	 <p>木具 和也 Kazuya Kigu 1991.3.1 まちづくり委員会 委員</p> <p>まるき運送(有) 〒771-2105 美馬市美馬町字願勝寺18-2 TEL.0883-63-2207/FAX.0883-63-4914 E-mail maruki@quolia.ne.jp</p> <p>■業種■ 運送業</p>
 <p>喜多 直樹 Naoki Kita 1982.2.7 副理事長</p> <p>税理士法人喜多会計 喜多直樹行政書士事務所 (有)サクセス・プランニング 〒779-3620 美馬市脇町木ノ内3788-2 TEL.0883-53-1177/FAX.0883-53-1178 URL https://kitakaiki.tknf.com</p> <p>■業種■ 税理士・行政書士</p>	 <p>北原 賢大 Yoshihiro Kitahara 1986.9.22 まちづくり委員会 委員</p> <p>東洋警備保障(株) 〒777-0005 美馬市穴吹町穴吹字平ノ内29-1 TEL.0883-52-3280 FAX.0883-53-9775</p> <p>■業種■ 警備業</p>
 <p>木下 賢功 Takanori Kinoshita 1990.9.15 まちづくり委員会 委員</p> <p>(有)ハマヤ保険事務所 代表取締役 〒779-3602 美馬市脇町大字猪尻字八幡神社下南121番地5 TEL.0883-52-2271/FAX.0883-53-8336 E-mail hamaya.hoken@gmail.com</p> <p>■業種■ 損害保険・生命保険代理店業</p>	 <p>郷 司 将 太 Shota Goji 1987.7.20 総務広報委員会 ひとづくり委員会 委員</p> <p>(株)ジー・プラス 取締役 〒779-3610 美馬市脇町大字脇町1016 TEL.0883-53-3003/FAX.0883-53-3004 E-mail goji.1987@gmail.com</p> <p>■業種■ 建設業</p>
 <p>佐藤 俊孝 Toshihisa Sato 1992.4.29 総務広報委員会 ひとづくり委員会 委員</p> <p>美容室PoPO 〒779-3601 美馬市脇町字拜原1087</p> <p>■業種■ 美容室</p>	 <p>佐藤 直樹 Naoki Sato 1981.4.10 監事・直前理事長</p> <p>ONE WEST(株) 代表取締役 〒779-3602 美馬市脇町猪尻西分164-1 TEL.0883-53-5678/FAX.0883-53-5679 E-mail one.west3434@hikari-net.ne.jp</p> <p>■業種■ 保険代理業</p>
 <p>佐藤 祐亮 Masaaki Sato 1983.1.4 まちづくり委員会 委員</p> <p>(株)ボトス 〒779-4401 美馬郡つるぎ町半田字小野131-1 TEL.0883-64-3555/FAX.0883-64-3556 E-mail belfort_2007@yahoo.co.jp</p> <p>■業種■ 婦人服小売</p>	 <p>澤田 明宏 Akihiro Sawada 1987.2.20 40周年実行委員会 委員長 まちづくり委員会 委員長</p> <p>(有)サワダ 取締役 〒779-3620 美馬市脇町馬木850番地 TEL.0883-52-1894/FAX.0883-52-1897 E-mail udatsu@awacco.ne.jp</p> <p>■業種■ 自動車販売・車検修理・レンタカー</p>
 <p>敷島 敏宏 Toshihiro Shikishima 1983.2.9 ひとづくり委員会 委員長</p> <p>(有)敷島モーターズ 取締役 〒777-0006 美馬市穴吹町山口字調子野502-1 TEL.0883-56-0802/FAX.0883-56-1168 E-mail shikishima777@quolia.ne.jp</p> <p>■業種■ 自動車販売・整備</p>	 <p>篠原 巨 Wataru Shinohara 1986.1.16 まちづくり委員会 委員</p> <p>東洋警備保障(株) 〒777-0005 美馬市穴吹町穴吹字平ノ内29-1 TEL.0883-52-3280 FAX.0883-53-9775</p> <p>■業種■ 警備業</p>
 <p>隅田 浩史 Hirofumi Sumida 1987.12.12 総務広報委員会 ひとづくり委員会 委員</p> <p>阿波銀行脇町支店 779-3602 美馬市脇町大字猪尻字八幡神社下南121-1 TEL.0883-52-2111 FAX.0883-52-2115</p> <p>■業種■ 金融業</p>	 <p>武田 勝俊 Masatoshi Takeda 1983.2.25 40周年実行委員会 副委員長 まちづくり委員会 副委員長</p> <p>(有)原組 取締役 〒779-3620 美馬市脇町岩倉2379番地 TEL.0883-52-1692/FAX.0883-52-2385 E-mail haragumi@amber.plala.or.jp</p> <p>■業種■ 建設業</p>
 <p>田岡 秀平 Syuhei Taoka 1987.11.14 まちづくり委員会 委員</p> <p>(株)I.O.K 代表取締役 〒771-2107 美馬市美馬町八幡141-3</p> <p>■業種■ 飲食業</p>	 <p>津川 政稀 Masaki Tsugawa 1990.8.16 総務広報委員会 ひとづくり委員会 委員</p> <p>(株)津川組 取締役 〒777-0003 美馬市穴吹町三島三谷346-1 TEL.0883-52-2348 FAX.0883-53-0705 E-mail tsugawa.k-1@hikari-net.ne.jp</p> <p>■業種■ 建設業</p>

 <p>中川 弘 則 Hironori Nakagawa 1986.11.12</p> <p>(株)中央建設 代表取締役社長 〒779-3610 美馬市脇町大字脇町大字大屋敷1064-1 TEL.0883-52-8150/FAX.0883-53-1487 E-mail tyuou-kensetu@jasmine.ocn.ne.jp</p> <p>■業種■ 建設業</p>	<p>まちづくり委員会 委員</p>	 <p>新納 篤 志 Atsushi Niino 1982.10.25</p> <p>(株)三栄アート社 取締役 〒777-0006 美馬市穴吹町山口字平野20-1 TEL.0883-52-0530 FAX.0883-52-3120 E-mail sanei-art@quolia.ne.jp</p> <p>■業種■ 印刷業</p>	<p>総務広報委員会 ひとづくり委員会 委員</p>
 <p>西川 弘 祐 Kousuke Nishikawa 1981.3.17</p> <p>(株)シグマサンライズ 代表取締役 〒047-0032 北海道小樽市稲穂4丁目10-3 E-mail knishikawa@sigma-sunrise.com</p> <p>■業種■ 小売業</p>	<p>まちづくり委員会 委員</p>	 <p>根本 大 輔 Daisuke Nemoto 1981.10.9</p> <p>(株)原田組 取締役 〒777-0301 美馬市木屋平三ツ木290番地3 TEL.0883-68-2041/FAX.0883-68-2536 E-mail kharada@peach.plala.or.jp</p> <p>■業種■ 建設業</p>	<p>専務理事</p>
 <p>藤川 智 大 Tomohiro Fujikawa 1988.6.7</p> <p>藤川建設(株) 代表取締役 〒779-3742 美馬市脇町字西赤谷835番6 TEL/FAX.0883-53-1225 E-mail m_fujikawa@quolia.ne.jp</p> <p>■業種■ 建設業</p>	<p>まちづくり委員会 委員</p>	 <p>藤田 学 Manabu Fujita 1982.12.26</p> <p>藤田自動車整備工場 〒771-2103 美馬市美馬町字八ノ坪18-1 TEL.0883-63-5122/FAX.0883-63-5128 E-mail fujita601213j@yahoo.co.jp</p> <p>■業種■ 自動車整備業</p>	<p>まちづくり委員会 委員</p>
 <p>細川 友 也 Tomoya Hosokawa 1981.8.2</p> <p>細川友也建築設計事務所 代表 〒779-3610 美馬市脇町大字脇町1199-10 E-mail t.hosokawa@hikari-net.ne.jp</p> <p>■業種■ 建築士</p>	<p>まちづくり委員会 委員</p>	 <p>丸山 貴 之 Takayuki Maruyama 1984.8.9</p> <p>グリーン環境(株) 取締役 〒777-0001 美馬市穴吹町三島字小島1238番地2 TEL.0883-52-4404 FAX.0883-52-4403</p> <p>■業種■ リサイクル業</p>	<p>総務広報委員会 委員長</p>
 <p>南 幸 佑 Kousuke Minami 1989.2.14</p> <p>南建設(株) 代表取締役 〒779-4103 美馬郡つるぎ町貞光字江ノ脇50-2 TEL.0883-62-2066/FAX.0883-62-2827 E-mail minami@373kk.com URL http://minami373kk.com/</p> <p>■業種■ 建設業</p>	<p>40周年実行委員会 副委員長 まちづくり委員会 副委員</p>	 <p>三宅 裕 也 Yuya Miyake 1990.4.7</p> <p>社会福祉法人 徳島県手をつなぐ育成会 障害者支援施設ルキーナうだつ 支援員 〒779-3634 美馬市脇町字小畑631番地の1 TEL.0883-53-2411/FAX.0883-53-2412 http://lucina-udatsu.com/ua E-mail lucina-udatsu@quolia.ne.jp</p> <p>■業種■ 福祉</p>	<p>総務広報委員会 ひとづくり委員会 委員</p>
 <p>森 隼 人 Hayato Mori 1988.6.24</p> <p>(有)森友 取締役 〒779-3602 美馬市脇町大字窪尻字建神社下南121-1 TEL.0883-52-1362</p> <p>■業種■ 飲食業</p>	<p>総務広報委員会 ひとづくり委員会 委員</p>	 <p>山本 啓 太 Keita Yamamoto 1986.6.10</p> <p>プルデンシャル生命保険(株) 〒770-0832 徳島市寺島本町東3-3 ダイロイネットホテル徳島駅前2F TEL.088-638-0371/FAX.088-638-0375 E-mail keita.yamamoto2@prudential.co.jp URL www.prudential.co.jp</p> <p>■業種■ 保険業</p>	<p>まちづくり委員会 委員</p>
 <p>脇川 直 幸 Naoyuki Wakikawa 1982.2.6</p> <p>脇川木工所 〒779-3602 美馬市脇町大字窪尻字西分30 TEL/FAX.0883-52-4304</p> <p>■業種■ 木工業</p>	<p>総務広報委員会 ひとづくり委員会 委員</p>		

一般社団法人 美馬青年会議所 2021年度 組織図



2021年度 出向者名簿

四国地区 広域連携推進会議	副 議 長 岸 幸佑
副 議 長 岸 幸佑	委 員 佐藤 直樹
委 員 敷島 敏宏	クオリティバリュー向上委員会 副 議 長 根本 大輔
徳島ブロック協議会 パートナーシップ推進委員会	委 員 長 岸 幸佑
副委員長 浦松 圭	委 員 佐藤 直樹
ブロック大会実行委員会	委 員 澤田 明宏
委 員 武田 勝俊	委 員 根本 大輔
組織強化委員会	委 員 佐藤 祐亮

(一社)美馬青年会議所 シニアメンバー名簿

名 前	勤 務 先	卒業年	名 前	勤 務 先	卒業年
植 田 順 勇	植田建築設計事務所	1981年	平 尾 栄 男	平尾石油	1993年
福 島 忠 明		1981年	岡 本 敏 彦	(有)岡本鮮魚店	1994年
平 野 直 彦	平野整形外科	1982年	野々村 隆	野々村税理士事務所	1994年
山 内 昭 典		1982年	大 野 耕 司	(有)大野屋	1995年
藤 見 親 義	(株)トーケン	1984年	鎌 田 一 久	(農)生産組合 長峯肉牛	1995年
岩 本 武 司	(株)岩本総業	1985年	北 岡 秀 二		1995年
大 野 哲 文	大野歯科	1985年	近 藤 龍 一	近藤保険事務所	1995年
浪 越 繁 男	浪越製瓦企業組合	1985年	斉 藤 衛	紺谷泌尿器科クリニック	1995年
西 岡 禧 伯		1985年	長 浦 保 福	(有)カジュアル・ライフ TOMO	1995年
一 井 真 人	(有)一井モータース	1986年	宮 本 公 司	脇町スレート	1995年
前 田 正 行		1986年	猪 本 義 植		1996年
脇 川 弘 志	(有)脇川商事	1986年	辻 一	(企)辻芳商店	1996年
中 川 元 佑	ナカガワ・アド	1987年	長谷部 憲 司	(有)ドライブインつどい	1996年
新 納 正 美	三栄アート社	1987年	平 尾 典 男	平尾石油	1996年
正 木 一 明	(医)藤野会 成田病院	1988年	梶 間 寛 司		1997年
森 廣 一	森廣一司法書士事務所	1988年	喜 多 輝 光	税理士法人喜多会計	1997年
森 西 博 昭		1988年	逢 坂 伸 司	(株)オオサカ	1998年
吉 田 宥 勝	(宗)本楽寺	1988年	小 田 一 城	(有)あけぼの	1998年
井 上 実	美馬土建(株)	1989年	笠 井 博	(株)宇山商事	1998年
岡 本 範 一	穴吹鉄工(株)	1989年	久米川 孝 一	久米川歯科医院	1998年
岸 利 典	スタジオ・キシ	1989年	森 靖	四季料理 森友	1998年
国 永 信 行		1989年	木 下 尊 生	(有)木下木材	1999年
杉 浦 徹		1989年	秦 健 司	(株)秦建材	1999年
原 政 義	原惣木材	1989年	南 恒 生	トラストコンクリート(株)	1999年
藤 本 吉 雄	アーキテクスチャーオフィス(株)	1989年	小 田 教 仁	(株)あけぼの	2000年
西 野 善 久	(有)ベストライフ	1990年	白 川 密 峰	(宗)多聞寺	2000年
大 堀 英 史	(有)半田タクシー	1991年	角 幸 次	角不動産	2000年
佐 藤 順 二	(株)ポトス	1991年	佐 藤 郁 雄		2001年
伊 藤 均		1992年	浜 口 伸 一	(株)ハマグチ	2001年
宇 民 俊 博	(有)オフィスうだつ	1993年	藤 田 元 治	阿州土建(株)	2001年
小 田 一 夫	(有)小田弘文堂	1993年	大 上 正 浩	(有)ジョイ	2002年
谷 富 夫	西部興業(有)	1993年	佐 藤 一 樹	(医)一樹会 佐藤内科	2002年

名前	勤務先	卒業年
澤田 篤也	(有)サワダ自動車	2002年
藤岡 和男	(有)フジオカ	2003年
尾方 昌美	尾方工務店(有)	2004年
岡部 洋史	(有)オカベ	2004年
辻 貴博	貞光食糧工業(有)	2004年
前野 光広	(有)マエノ写真館	2004年
三宅 利久	三宅歯科医院	2004年
山口 直樹	やまぐち動物病院	2004年
藤田 茂樹	ローソン脇町拝原店	2005年
笠井 善雄	(株)田村組	2006年
津川 政仁	(株)津川組	2006年
藤本 宏司		2006年
北條 健彦	(株)北條	2007年
安芸 孝晴	安芸食品(有)	2008年
藤野 晴彦	(医)藤野会 成田診療所	2008年
三宅 英樹	三宅生コン(有)	2008年
岡 芳剛	岡内科病院	2009年
河合 純治	(有)河合石材	2009年
田 渕 宏樹	(株)マックス設計	2009年
浪越 憲一	浪越製瓦企業組合	2010年
郷 司 敦史	秘書	2011年
三好 亘	(有)うだつ保険事務所	2011年
岩本 英司	(株)岩本総業・四国自動車総業	2012年
香西 芳昭	(有)こうざい調剤薬局	2012年
佐藤 勝彦	(福)健祥会	2012年
友成 大	友成工業(株)	2012年
豊島 真一	豊島建設(株)	2012年
中西 智	(株)栄工製作所	2012年
八木 一郎	(株)八木	2012年
脇川 徹	(有)脇川商事	2012年
遠藤 公信	遠藤正気堂	2013年
辻 孝	理容 つじ	2013年

名前	勤務先	卒業年
藤見 薫	(株)トーケン	2013年
森 清一	(有)森忠	2013年
森 藤利仁	(有)森藤電気工業所	2013年
内藤 貴喜	(有)内藤建設	2014年
廣川 雅英	廣川商事(株)	2014年
中西 墨	(株)ファウント	2015年
西村 信彦	焼肉DINING・AJITO	2015年
藤本 剛	チャームショップふじもと	2015年
松田 健一郎	教員	2015年
一井 真憲	(有)一井モータース	2016年
森 一雄	(有)森事務所	2016年
吉田 宥玄	(宗)本楽寺	2016年
須藤 多恵	(有)ネオプレス	2017年
西野 弘二	(株)ふれしあ保険事務所	2017年
藤野 克彦	(有)ハリカ徳島穴吹店	2017年
吉野 靖司	吉野機械設計.	2017年
秋山 学	やまびこ自動車	2018年
松尾 友記	阿波市商工会	2018年
美馬 英二	DELTA plus	2018年
宇山 佳孝	(株)宇山商事	2019年
佐尾山 由宣	(有)井川メガネ	2019年
三宅 裕貴	居酒屋とまと	2019年
伊庭 佳代	つるぎ木材加工協同組合	2020年
加島 寛之	加島寛之司法書士事務所	2020年
川田 浩司	(有)川田光栄堂本店	2020年
郡 一志	毎日プロパン(有)	2020年
小角 有里	(株)グローバル	2020年
佐々木 喜庸史		2020年
高木 伸也	(有)高木建設	2020年
西尾 周平	(有)西尾組	2020年

※卒業年度当時のものになります。

(一社)美馬青年会議所 中長期計画

スローガン 豊かな郷土、「美馬」を築くために

はじめに

本年は、1981年(昭和56年)に誕生した一般社団法人美馬青年会議所が40年の節目を迎える年です。

美馬青年会議所設立趣意書には、「美馬郡一帯の青年経済人の共感を求め、より住みよい、より豊かな地域社会を創造する第一歩として若人の力を結集し、たくましい行動力を発揮する団体「美馬青年会議所」の設立を提唱します。」という文書があります。

これを基に設立され、修練、奉仕、友情の三信条を基盤とし、青年としての英知と勇気と情熱をもって明るい豊かな社会を築き上げるよう努力してまいりました。

諸先輩方がこれまで築きあげてきたものを今後も継承していき、これを次の世代へと繋げていくために中長期計画を作成することとしました。

豊かな郷土、「美馬」を築くために、というスローガンは、設立宣言文の一文のイメージから作りました。すべての市民、また、我々のまちに関係する方々豊かな郷土と感ずることでき、そして豊かな心ある人間を育てる、そんな郷土にしたいという思いがあります。

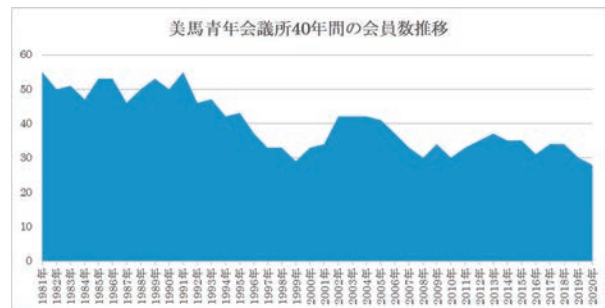
その実現のためにも我々青年会議所は、過去を見つめなおし美馬の明るい豊かな社会の実現に向けてこの中長期計画を策定します。

強固な組織づくり

我々美馬青年会議所のメンバーは設立時こそ約70名と大人数でしたが、その後40名から30名の間を推移しており、2021年現在33名となりました。このまま、会員の減少が続くと、5年後には12名になります。このままでは、組織として存続することが不可能になります。この1年、2年の間に会員拡大し、メンバーを増やすことが必要です。

そのためにも、我々の組織が価値あるものだというのをこのまちの人に知ってもらうことが必要です。そのためには、メンバー一人ひとりが美馬青年会議所に所属していることに価値を見出し成長を感じ取れる場所にしていかなければなりません。

我々は、意識変革団体です。メンバーを獲得するためには、まず我々の意識も変えていかなくてはなりません。誰かを頼るのではなく、一人ひとりが当事者意識を持ちながら考え方、行動し、様々な人材を確保できるようにしていく必要があります。



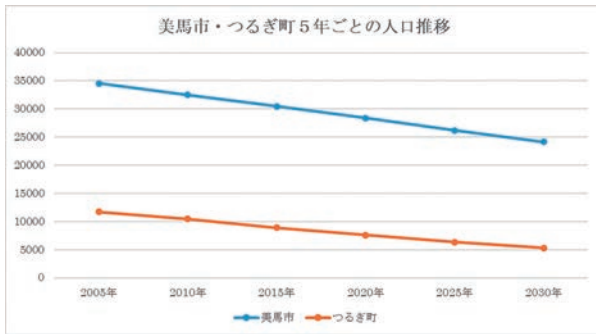
我々の運動の拠点である美馬の現状について

人口問題

これを問題にしている自治体は日本全国のほとんどの自治体について言えると考えられます。2025年には団塊の世代がすべて後期高齢者となります。超高齢化社会への突入はもう目前に迫っています。

現在の日本全体では、少子化が進行し出生数は2008年から2019年まで右肩下がりで減少しています。(厚労省調べ)

また、美馬市・つるぎ町においては1950年の96,010人(美馬市・つるぎ町人口ビジョン調べ)をピークに年々減少しており2020年では約36,000人となっています。特に若者の都市部への流出に伴い10代後半から～20代後半にかけての世代の人口の減少が顕著です。それにより生産年齢人口も減少し担い手不足や労働者不足につながっています。また、市外への消費の流出に伴い様々な面で活力の低下もみられます。



人口減少することを受け入れる

我々の住み暮らすまちである美馬市・つるぎ町においては、都市部と比べてもっと速いスピードで少子高齢化の波が押し寄せています。この波を食い止め人口を増加させることは、残念ながら不可能だと思われます。この現状を受け入れ持続可能な社会を作り上げていくために価値のある運動を行わなくてはなりません。

環境、災害対策問題

10年前の2011年に東日本大震災が起きました。この地震災害を契機に防災について様々な取り組みがなされるようになりました。徳島でも必ず起こるといわれている南海トラフ地震をはじめとして、温暖化等の気候変動により毎年のように各地で起こる豪雨災害等の自然災害に晒されています。美馬市つるぎ町においても、特に豪雨災害については、毎年のように危機にさらされています。

また、エコやリサイクルといった言葉は定着していますが、実際にそれを行動として示すことはまだまだできていません。限りある資源を有効に使い美馬市・つるぎ町の豊かな自然を残していくためにも循環型社会の構築についても考えなくてはなりません。

災害は対岸の火事ではないことを認識する

美馬市・つるぎ町には吉野川をはじめとする様々な河川があり、まちのほとんどが山地であり総面積の80%が森林となっています。山地は、特に降雨による土砂災害が起こりやすい地域でもあります。我々を含め、まち全体で対策を考え、「自助」と「共助」による防災力を高めていく必要があります。

また、環境問題についても、まず我々が何か行動

することでその運動をまち全体に広げていかななくてはなりません。

我々を取り巻く社会環境

我々を取り巻く社会情勢は目まぐるしい早さで変化しています。時代の流れの中で、様々なものが生み出され消えています。特に情報通信技術（ICT）については、とてつもない速さで変化しています。この変化に対応しながら我々の運動を行うことで、その効果は何倍にも増幅することができます。

ICTによって世の中の利便性が上がるなかで、様々な要因が重なりICTを使うことができる者と出来ない者での情報格差が問題になっています。

地方でもできることはある

美馬市・つるぎ町では都市部と比べると、様々な格差があります。ただ、この技術をうまく使うことで都市部と同じ条件にすることができます。この一つの例として、サテライトオフィスがあります。美馬市つるぎ町には、現在（2020年10月）1社のサテライトオフィスがあり、地域の発展において重要な役割を担っています。このサテライトオフィスの魅力の一つとしては、ワークライフバランスが挙げられます。都市部から若者がサテライトオフィスに来ることで地元の人や企業と交わることで新しいものが生まれます。我々も積極的にここにかかわっていけるように活動していきます。

SDGsについて

SDGsとは国連で2015年に採択され2030年を期限とする、貧困や飢餓の根絶、福祉の推進など17の開発目標のことで、国際社会全体の課題として取り組まれているものです。

日本青年会議所は2019年1月の京都会議において日本で一番のSDGs推進団体になると宣言しました。美馬青年会議所についてもSDGsについて学びながら、美馬市・つるぎ町でいち早く推進してきました。SDGsについては、美馬市においても2020年度3月に発表された第3次美馬市総合計画についても美馬市の総合計画に推進することでSDGsの達成に貢献すると記載されています。今後美馬市つるぎ町で一番のSDGs推進団体として活動していきます。



おわりに

我々美馬青年会議所は40年という伝統のある組織です。美馬市・つぎ町で青年経済人として日々運動を行っています。我々の存在意義を高めるために、我々の運動の価値を高め、組織としての価値をまちの人に知ってもらわなければなりません。

今後も、まちづくり、ひとづくり、組織づくりを通じてこのまちが明るい豊かな社会へとなるように歩んで参ります。運動を行う中で、苦しいときや価値を見出せないときもあると思います。

意識が変われば行動が変わる。行動が変われば結果が変わると言われます。本年策定する中長期ビジョンを基に我々美馬青年会議所は、課題に対して自覚を持ち、共に悩み運動を起こし、行動し共に成長しながら美馬青年会議所の未来のため運動していきます。

一般社団法人 美馬青年会議所 設立40周年記念誌

発行 / 2021年9月6日
発行者 / 一般社団法人 美馬青年会議所
編集 / まちづくり委員会
印刷 / 有限会社 ネオプレス

